

特別区・政令指定都市のマンション化率

東京カンテイ調査によると、三大都市圏や地方中枢都市では、マンション化率の上昇が見受けられる一方、札幌市、マンション供給の低迷・世帯増加のさいたま市では、縮小している。ランキングをみると、東京23区が9年連続のトップでマンション化率31.97%、2位の福岡市が初めてのマンション化率30%台(30.12%)に達している。

以下、神戸市(同29.60%)大阪市(同28.96%)横浜市(同28.58%)と続く。

中四国・九州地方では、12位広島市(同17.30%)15位北九州市(同16.11%)18位岡山市(同8.11%)となっている。

全国的に価格上昇傾向が続く

東京カンテイ調査によると、引き続き三大都市圏の価格は上昇しており、地方中枢4都市を有する北海道・宮城県・広島県・福岡県も強含みの傾向です。

対照的に、前月比価格が下落した地域は、47都道府県のうち13から16地域に増加しています。

※マンション化率(マンションストック総数÷世帯数)

令和3年5月

穴吹不動産流通株式会社

法人営業部法人営業グループ